

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

| 久米島町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | H28成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---|------|-----------------|-----------------|--|----------------------------------|---|--|------------------------------|
| パ | 細 | | | | H28事業内容 | H28活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| | | | | | | | | | |
| 1 | | | 久米島農林水産業活性化推進事業 | H24 ～ H33 | | | | | |
| 1 | | | 漁港施設機能強化事業 | H24 ～ H33 | 本町の基幹産業である水産業の振興を図るため、主要漁港に漁船巻揚機の設置を行う団体へ支援を行う。 | 漁船巻上機(1基)の導入 | 巻き上げ機整備率(全体10基)50% | 平成29年度供用開始 荒天時(台風等)に大型漁船を避難できる体制を整備し、漁民の労働負担や経費負担を軽減する。 | |
| 1 | | | モズク加工場機能強化事業 | H24 ～ H33 | 本町水産業の主要品目であるモズクの加工施設の強化を図り生産性の向上につなげるため、モズクの品質向上に必要な冷凍設備の整備を行う団体へ支援を行う。 | ・冷凍設備設置 | 生産性の向上と品質管理の確立 | 平成29年度供用開始 冷凍保管により商品の品質を保ち出荷し漁家所得向上に繋げる。 | |
| 1 | | | 車エビ養殖場設備強化事業 | H24 ～ H33 | 本町の主要品目である車エビの品質及びブランド力向上のために必要な、車エビ養殖場の水門、2号池中央排水、仕切壁及びエプロンの整備を行う団体へ支援を行う。 | ・2号池中央排水、仕切壁及びエプロン整備 ・水門の整備 | 生産性の向上と衛生管理の確立 | 計画的な施設の機能強化を図り、養殖車エビの品質向上・ブランド化に取り組む。 | |
| 1 | | | 優良雌牛導入事業 | H26 ～ H33 | 本町の繁殖雌牛の生産基盤の拡充・改良を促進し「くめじま牛」のブランド化を図り畜産業の振興につなげるため、優良遺伝繁殖雌牛の導入事業を行う団体へ支援を行う。 | 優良繁殖雌牛導入(70頭) | ・優良雌牛導入率:32% (導入予定:510頭) | 導入頭数(累計) H33年度:510頭 農家の高齢化等により成牛が減少傾向にある。安定した出荷体制を確保するため、導入予定を240頭から510頭へ変更した。 | |
| 2 | | | 久米島特産品開発・販路開拓事業 | H24 ～ H33 | | | | | |
| 2 | | | 久米島紬販売促進事業 | H24 ～ H33 | 久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した販売会や問屋呉服店への販即訪問等を行う団体へ支援を行う。 | 県内・外での展示会参加数 8回 | ・反物売上額 H28年度 7,700万円 (参考H27年度 7,500万円) ・小物売上額 H28年 1,500万円 (参考H27年度 1,400万円) | 反物売上額 H26(基準年) 7,100万円 H33(最終年) 7,950万円 小物売上額 H26(基準年) 1,000万円 H33(最終年) 2,050万円 | |
| 2 | | | 久米島特産品販路開拓事業 | H24 ～ H33 | 本町特産品の販路拡大を図るため、県内外で開催される物産展への出展を支援する。また、加工食品製造スキルアップ研修会の開催や統一デザイン装飾品製作等を行う団体へ支援を行う。 | ・物産展開催・参加 10回 ・講習会、勉強会の開催 12回 | ・物産展における販売額 H28年度 2,648万円 ・久米島加工食品製造スキルアップ研修会参加事業所数 8社 | 物産展における販売額 H26(基準年) 2,238万円 H33(最終年) 3,030万円 アンテナショップ:H28.7事業取下げ | 10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更) |

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

| 久米島町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | H28成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---|------|-------------------|-----------------|---|---|---|--|----------------------|
| パ | 細 | | | | H28事業内容 | H28活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 3 | | | 久米島観光誘客促進事業 | H24 ～ H33 | | | | | |
| 3 | | | 久米島観光誘客支援事業 | H24 ～ H33 | 久米島の良さを効果的に伝え観光客の誘客を促進するため、島の魅力を活かした旅行商品の企画、各種イベントの開催や広報活動等を実施する。 | 観光案内人2名配置 イベント開催(3件) 広報推進事業 広報活動 7件 団体ツアー商品造成 40ツアー 観光パンフレット製作 1件 | 観光情報案内及びニーズを把握し、観光満足度の向上を図る。 ・入域観光客数 平成28年度 105,000人 ・イベント参加人数 平成28年度 920人 ・広報推進事業 広報活動 7件/久米島の認知度向上 | 入域観光客 H26(基準年) 92,771人 H30(観光振興計画最終年) 120,000人 イベント開催 H26年度(基準年)参加者 758人 H33年度(最終年)参加者1,070人 | |
| 3 | | | 久米島観光プロモーション事業 | H25 ～ H33 | 本町の観光誘客の課題である知名度不足の解消を図るため、大手IT企業を活用した観光プロモーションを実施する。 | ・国内大手の旅行及び宿泊予約サイトを活用した誘客促進 ・観光PR映像を活用した誘客促進 ・メディアプロモーション(県外テレビ放映) | ・メディアミックスプロモーション 1社 ・WEBプロモーション 1社 ・メディアプロモーション(県外テレビ放映):1件 | 国内大手のWEBエージェントにて久米島の春夏秋冬の情報を4回発信する。併せてマスメディアによるPRを行う。情報の拡散効果を図るためFacebookも活用する。 | |
| 3 | | | 体験交流型観光商品開発販売促進事業 | H26 ～ H28 | 本町の観光入域客数を増加させ観光産業の振興を図るため、修学旅行受入促進のための旅行商品の開発、販売促進事業を実施する団体へ支援を行う。 | ・民泊の営業許可の取得件数 10件 ・体験プログラム・開発・改良件数10件 | ・修学旅行入域者数 H28年度 700人(参考H27年度 577人) ・体験プログラム利用者数 H28年度 1,450人(参考H27年度 1,376人) | 修学旅行 H28年度(最終年)入域目標 700名 | |
| 3 | | | スポーツ合宿誘致事業 | H26 ～ H33 | 観光客が減少する冬季の誘客促進を図るため、スポーツ合宿の誘致活動を実施し、スポーツコンベンションの推進を図る。 | 野球・陸上合宿誘致 パークゴルフ大会、愛好者誘致 | 陸上合宿 4件(40名) 大学野球合宿 6件 パークゴルフ大会 2件(島外参加者数160人) パークゴルフ愛好者(観光客) 1,800人 | H33年度(最終年) 陸上合宿6件 大学野球合宿6件 パークゴルフ大会2件、愛好者2,100人 | |
| 3 | | | 航空路線拡充対策事業 | H26 ～ H33 | 伸び悩む観光入域誘客の増加に繋げるため、チャーター便や新規航空会社の誘致を行い、航空路の充実・強化を図る。 | チャーター便実現の為、久米島空港での給油を行う。 新規航空会社の誘致及び誘致に係る調査及び活動を行う。 | チャーター便運航数:H28年度 114便(参考H27年度 38便) 要請及び調査活動:4回 新規航空会社誘致体制の確立 | H33年度(最終年) チャーター便運航数:114便 新規参入航空会社 1社 | 10月変更(計画変更に伴う成果目標変更) |
| 4 | | | 「夢つむぐ島」づくり推進事業 | H28 ～ H33 | | | | | |
| 4 | | | 子育て支援事業 | H28 ～ H33 | 子育て支援の充実を図るため、幼児から小学生が気軽に安心安全に遊べる施設を整備する。また、家族連れの観光客が安心して遊べる公園を整備することにより、観光地としての魅力アップを図る。 | ・ふれあい公園遊具の設置 | ・公園内の遊具を充実させることで子育て支援体制の整備を図る。 ・遊具整備率(全体3公園)33% | ・ふれあい公園:H29年度供用開始 ・H31年度 遊具整備(仲里A公園(仮称)) ・H33年度 遊具整備(イーファ公園(仮称)) | |

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

| 久米島町 | | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | H28成果目標(指標) | 備考 | |
|------|------------------|---------|--|------------------------------------|--|--|------------------------|-------|
| 事業番号 | 事業内容 | | | H28事業内容 | H28活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 4 | 火葬場・葬祭場施設整備事業 | H28～H29 | 町民の安心安全な生活環境を確保するため、火葬場及び葬祭場を整備する。 | ・火葬場・葬祭場施設実施設計 ・火葬場・葬祭場建設工事 | ・火葬場・葬祭場施設実施設計の完了 ・火葬場・葬祭場建設工事の完了 | ・平成29年10月供用開始予定 H29: 駐車場整備工事 | 8月変更 (計画変更に伴う各目標変更) | |
| 5 | 久米島環境保全・美化推進事業 | H24～H28 | | | | | | |
| 5 | 球美の島エコアイランド化推進事業 | H24～H28 | 低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。 | 約535灯のLED防犯灯を整備・設置 | ・LED防犯灯整備率: 100% (導入予定: 1,650灯) | 事業完了 適切な維持管理に努める | | |
| 5 | 球美の島緑化推進事業 | H24～H28 | 久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。 | ツツジゾーン造成、植栽工事及び駐車場整備工事 | ツツジゾーン造成、植栽工事及び駐車場整備工事の完了 | 平成29年4月全面供用開始 | | |
| 6 | 久米島地域資源発掘・活用促進事業 | H24～H33 | | | | | | |
| 6 | 沖縄らしい風景づくり推進事業 | H24～H33 | 本町の優れた景観を次世代に受け継ぎ独自の景観形成を推進するため、町景観条例に基づく景観形成に取り組む団体及び個人が実施する屋根等の外観の景観形成に有効な部分の新設及び改良に要する経費の一部を支援する。 | ・景観活動団体支援 ・景観形成支援 | ・景観活動団体支援 3団体 ・景観形成支援 2戸 | (今後の展開方針) 助成件数(累計): H33年度 ・景観活動団体支援 18団体 ・景観形成支援 18戸 | | |
| 6 | 個性豊かな文化の振興事業 | H24～H33 | 伝統芸能の保存及び後継者育成を推進し地域伝統文化の振興を図るため、文化振興の活動を行っている団体の行う保存継承イベント開催を支援する。 | ・民俗芸能の保存・継承・後継者育成 ・民俗芸能発表会の開催 | ・発表会出演者130名 来場者450名 ・継承に関する聞き取り調査資料2件 | 団体の掘りおこし ・H33年度 育成団体 累計27 発表会出演団体数 ・H33年度 累計81 | | |
| 6 | 文化遺産保存活用事業 | H24～H33 | 豊かな自然とともに、数多く残されている地域色豊かな歴史文化等の文化遺産を活かした観光振興を図るため古文書(博物館資料)の修復を行う。 | ・古文書修復 件数: 145件 ・翻刻・口語訳 件数: 36件 | ・古文書修復の割合29% (1625件中476件(累計)の修復) ・翻刻・口語訳の割合47% (288件(1625件中、重要史料数)中138件(累計)の修復) | ・修復した割合 H30年度: 58% H33年度(最終年): 100% ・翻刻・口語訳した割合 H30年度: 68% H33年度(最終年): 100% ・修復した古文書の公開活用 H29年展示準備・検討を行う H30年展示公開活用を行う | | |

H28活動目標(指標): 平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標): 平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

| 久米島町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業概要 | | H28成果目標(指標) | 備考 | |
|------|---|------|-----------------|-----------------|---|---|---|--|-------|
| パ | 細 | | | | H28事業内容 | H28活動目標(指標) | | 今後の展開方針等 | 補足説明等 |
| 6 | | | 久米島現代版組踊り創作事業 | H24 ～ H33 | 若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある観光地形成を図るため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを実演する。 | 若い世代(中高生)による創作現代版の組踊り公演 40名～50名参加 | ・ふるさとの歴史や文化を地域の人々が再発見し、その誇りと魅力を自発的に発信し歴史的文化観光資源を創出する。 ・公演回数:15回 | 久米島でのイベント等での公演や島外での公演を行なうことで久米島の魅力のアピールを行なう。中高校生が文化の担い手として文化歴史を紹介するガイドの育成に繋げる。 | |
| 7 | | | 久米島教育環境の充実・整備事業 | H24 ～ H33 | | | | | |
| 7 | | | 英語指導員配置事業 | H24 ～ H33 | 小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置する。 | 英語指導員配置数:小学校1名 小学校3年生から6年生(3,4年生120時間、5,6年生210時間)で実施する。 | 英語指導員の配置 小学校:1名 町内全6小学校の児童が英語を活用してコミュニケーション力の向上。 | 中学校の外国語教諭と連携を密にし授業改善(内容・単語・センテンス等)について検討する。 | |
| 7 | | | 基礎学力向上学習支援員配置事業 | H26 ～ H33 | 確かな学力を身につける教育の推進を図るため、学習未定着率の高い小学校へ補助指導員を配置し、国語・算数を中心とした基礎学力向上支援を行う。 | 基礎学力向上学習支援員配置数: 小学校3校に各1名。 | 学習未定着児童の学力向上 各種調査(全国学力学習状況調査等)で県平均以上にする。 | H33年度まで事業を継続し、全国平均以上とする。 | |
| 7 | | | 特別支援教育支援員配置事業 | H26 ～ H33 | 特別に支援を要する児童に対し個別指導や放課後の補習、介助や安全確保等教師と連携した支援体制の充実を図るため、特別支援員を各学校へ派遣する。 | 特別支援教育支援員配置数:小学校12名、中学校3名。 | 児童生徒の総合的な学力向上に繋げる。全国学力学習状況調査等で、正答率30%未満の児童生徒の数を減少させる。 小学校6.7% 5% 中学校27.5% 23% | H33年度まで事業を継続し、正答率30%未満の児童生徒を小学校3%、中学校10%以下とする。 | |
| 7 | | | 児童・生徒各種大会派遣支援事業 | H27 ～ H33 | 児童・生徒の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、課外活動として島外で開催される各種大会への派遣旅費について支援を行う。 | 管内中学校生徒 700名参加 | 生徒派遣(700名)により多様な能力と心身の発達や育成を図る。 | ・遠征費に係る補助割合の検証 ・参加することができなかった生徒の検証 ・大会参加者の目標・成果の検証 | |
| 7 | | | 教育用ソフト導入事業 | H27 ～ H28 | わかりやすい授業で学習意欲や学力の向上を図るため、中学校において主要教科のデジタル教科書、操作用ノートパソコン及び電子黒板付きプロジェクターの整備を図る。 | ・ソフトウェア購入 2中学校×3学年×5教科 ・操作端末購入ノート型PC 23台 ・電子黒板機能付きプロジェクター15教室 | 生徒の総合的な学力の向上。沖縄県到達度調査の正答率過去3年間平均値からの向上。 国語(過去平均)59.9 61.9(目標値) 数学(過去平均)41.7 43.7(目標値) 理科(過去平均)35.6 37.6(目標値) 社会(過去平均)52.1 54.1(目標値) 英語(過去平均)48.1 50.4(目標値) | 教諭の研修などを行い、よりわかりやすい授業を展開する。 | |

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。